

令和3年2月期 業務実績報告書（経営総務課）

一般事項

特記事項

1 水道料金調定関係

項目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 計画累計	D 前年度同月累計	E 対計画比較	F 対前年比較
1 調定件数	件	30,116	334,194	333,800	333,884	394	310
2 調定水量	m ³	655,596	7,172,731	7,004,800	7,066,021	167,931	106,710
3 調定料金(税抜)	円	174,151,541	1,920,276,736	1,881,000,000	1,893,921,575	39,276,736	26,355,161
4 口振加入件数	件	24,901	275,950	—	275,804	—	146

2 下水道使用料調定関係

項目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 計画累計	D 前年度同月累計	E 対計画比較	F 対前年比較
5 調定件数	件	18,400	201,791	200,590	198,578	1,201	3,213
6 調定水量	m ³	398,997	4,338,671	4,191,900	4,212,656	146,771	126,015
7 調定料金(税抜)	円	62,655,229	684,127,671	660,268,000	665,650,422	23,859,671	18,477,249

3 給水業務関係

項目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 前年度同月累計	D 対前年比較(B-C)
8 給水人口	人	77,425	—	78,826	△ 1,401
9 給水件数	件	30,023	—	29,959	64
10 開栓処理件数	件	184	2,489	2,557	△ 68
11 閉栓処理件数	件	164	2,609	2,768	△ 159
12 給水工事設計審査	件	46	579	725	△ 146
13 給水工事竣工検査	件	69	765	796	△ 31
14 経年メーター交換	件	1	3,419	4,202	△ 783
15 メーター口径変更	件	5	54	57	△ 3
16 月末停止件数	件	4	117	105	12

4 排水設備業務関係

項目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 前年度同月累計	D 対前年比較(B-C)
17 排水設備工事確認申請	件	14	309	418	△ 109
18 排水設備工事完了検査	件	22	336	434	△ 98

5 水道料金徴収関係

項目	A 当月未収額	B 収納率	C 前年同月未収額	D 収納率
19 当年度分	206,870,173円	90.22%	193,000,600円	90.63%
20 過年度分	4,242,937円	97.78%	4,311,719円	97.72%
21 計	211,113,110円	-	197,312,319円	-

6 下水道使用料徴収関係

項目	A 当月未収額	B 収納率	C 前年同月未収額	D 収納率
22 当年度分	81,204,736円	89.20%	80,992,491円	88.81%
23 過年度分	759,056円	99.01%	956,799円	98.69%
24 計	81,963,792円	-	81,949,290円	-

7 受益者分(負)担金徴収関係

項目	A 当月未収額	B 収納率	C 前年同月未収額	D 収納率
25 当年度分	1,497,700円	96.53%	1,405,800円	96.69%
26 過年度分	2,343,000円	29.05%	2,931,930円	28.60%
27 計	3,840,700円	-	4,337,730円	-

8 入札・契約

(左:当月 右:累計)

項目	累計		工事請負		設計業務		業務委託		物品購入		その他	
	落札件数	入札件数										
入札件数	1	155	0	103	0	22	1	11	0	19	0	0
契約締結	一般	0	38	0	38	0	0	0	0	0	0	0
	指名	1	91	0	51	0	22	1	7	0	11	0
	随契	0	26	0	14	0	0	0	4	0	8	0
	合計	1	155	0	103	0	22	1	11	0	19	0

《中止 当月 0件/累計 13件》《不調 当月 0件/累計 8件》《取消 当月 0件/累計 1件》《未契約 0件》

1. 2月期の経営状況

(1) 予算執行状況等について

・上水道事業

ア 収益的収支

当期の給水収益は174,152千円(税抜)で、前月期に比べて2,615千円の増で、対前年同月比では11,177千円の増となり、営業収益は191,971千円、営業外収益は預金利息及び事務手数料等4,913千円を執行しました。

当期の営業費用は職員給与費、修繕費及び業務委託料など76,193千円、営業外費用は企業債利息で31,009千円、特別損失は塩竈市への応援作業費用として16千円を執行しました。

イ 資本的収支

当期の収入は、補償金及び加入金で7,147千円を執行しました。

支出は、建設改良費として配水管布設工事、調査設計費及び事務費に66,046千円、企業債償還金155,189千円を執行しました。

ウ たな卸し資産購入限度額

当期は薬品に1,702千円を執行しました。

・下水道事業

ア 収益的収支

当期の下水道使用料は62,655千円(税抜)で、前月期に比べて962千円の増で、対前年同月比では3,763千円の増となり、営業収益は69,190千円、営業外収益は利息及び負担金等1,443千円、特別利益は259千円となりました。

当期の営業費用は職員給与費や業務委託料など67,146千円、営業外費用は企業債利息支払として39,261千円を執行しました。

イ 資本的収支

当期の収入は、企業債及び国庫補助金など917,568千円を執行しました。

支出は、調査設計費、浄化槽設置工事や職員給与費などを含む建設改良費32,193千円、企業債償還金135,660千円を執行しました。

2. 今月の出来事

(1) 登米市議会定例会2月定期議会について

2月1日(月)に令和3年登米市議会定例会2月定期議会が開会しました。上下水道部では「登米市上下水道事業運営審議会条例の制定について」など計5件を提案し、補正予算2件については2月5日、条例については2月24日に原案のとおり可決されました。

また、代表質問で迫町大東地区の雨水排水路整備について質問をいただき、完成目標である令和7年度の供用に向けて計画通り進んでいる旨の答弁を行いました。

(2) 総務企画常任委員会について

2月3日(水)及び2月25日(木)に総務企画常任委員会が開会されました。補正予算、令和3年度予算、登米市上下水道事業運営審議会条例の制定について説明を行いました。

補正予算は、水道事業及び下水道事業ともに事業費確定による減額補正となりました。

令和3年度水道事業会計当初予算は、予算規模3,582,198千円で前年度比130,300千円の増となりました。

令和3年度下水道事業会計当初予算は、予算規模4,701,491千円で前年度比388,028千円の減となりました。

また、今後さらに厳しさを増す経営環境の中で経営基盤の強化を図っていく必要があることから、「登米市上下水道事業運営審議会条例」を制定し上下水道事業を一体的に審議する新たな運営審議会の設置を行う旨の説明を行いました。

《令和3年度予算の主な内容》

・業務の予定量(水道事業)

給水件数 30,000件 年間総配水量 8,566千m³ 年間総有収水量 7,567千m³

・業務の予定量(下水道事業)

水洗化世帯数 18,200件 年間有収水量 4,560千m³ 世帯有収水量 20.9m³

令和3年2月期 業務実績報告書（水道施設課・下水道施設課）

水道施設課

経営分析の状況

◎ 配水量の状況

(単位：m³)

項目	当月実績 (A)	実績累計 (B)	計画累計 (C)	前年累計 (D)	比較 (E)	
					対計画 (B)-(C)	対前年度 (B)-(D)
総取水量	769,636	9,079,905	8,607,410	8,970,120	472,495	109,785
総配水量	718,035	8,448,852	8,014,290	8,345,638	434,562	103,214
1 有効水量	708,415	7,814,568	7,598,410	7,645,011	216,158	169,557
(1) 有収水量	660,012	7,224,467	7,055,500	7,121,109	168,967	103,358
(2) 無収水量	48,403	590,101	542,910	523,902	47,191	66,199
2 無効水量	9,620	634,284	415,880	700,627	218,404	△ 66,343
(1) 漏水量	5,493	626,762	409,000	695,150	217,762	△ 68,388
(2) その他無効水量	4,127	7,522	6,880	5,477	642	2,045
3 有収率	91.92%	85.51%	88.04%	85.33%	-2.53%	0.18%

※ 当月期の最大配水量は、1日(月)に記録した【29,408m³】です。

◎ 主要な建設改良事業の状況

(単位：件・千円)

主要な建設改良事業	予算 (A)		施工中 (B)		竣工 (C)		残額 (D) (A)-(B+C)	執行率
	件数	金額	件数	金額	件数	金額		
取水施設整備事業	0	0	0	0	0	0	0	—
浄水施設整備事業	4	38,850	2	16,234	2	22,100	516	98.7%
配給水施設整備事業	67	922,756	37	613,346	30	260,156	49,254	94.7%

※ 件数及び金額は、工事+委託(事務費・人件費含む)の合計です。

特記事項

1 福島県沖を震源とするマグニチュード7.1の地震発生

2月13日(土)23:08、福島県沖を震源とするマグニチュード7.1の地震が発生し、本市では震度6弱を観測しました。直ちに上下水道部非常配備を発令、水道施設の確認を行いました。結果、取水、導水、浄水の各施設に異常はありませんでした。配水施設では、新田倉崎ポンプ場が停電のため自家発電装置が稼働しました。(1時間程度・断水なし)配水管については、迫町内3箇所空気弁の漏水と、硬質塩化ビニル管40mmからの漏水が発生し、復旧工事に伴い21戸が断水(1時間)となりました。4箇所とも全て復旧完了しています。このことから2月15日(月)12:00、上下水道部非常配備を解除しました。

2 浄水場浄水汚泥の搬出

2月5日(金)から18日(木)まで、浄水施設等管理運営業務の委託業務として、浄水処理により発生した浄水汚泥の搬出作業を実施しました。この汚泥は、(株)吉田レミコン宮城リ・ソイルセンターへ搬出し、土木資材として活用されることとなっています。

本年度は560m³を搬出しました。



【石越浄水場汚泥積込作業状況】



【保呂羽浄水場中央管理室確認状況】

◎ 漏水調査結果について

漏水調査結果	施設	件数	漏水量 (m ³ /h)
	配水管	42	197.192
	付属施設	0	0.000
	給水装置	53	59.942
計	95	257.134	

【漏水調査結果：4月～2月(累計)】
 ※参考：漏水量削減効果(金額換算)
 約1,721,090円/日当たり
 算定：R1年度給水原価 278.89円
 累計漏水量 257.134m³/h
 257.134m³/h×24h×278.89円

下水道施設課

経営分析の状況

◎ 処理水量の状況

(単位：m³)

項目	当月実績 (A)	実績累計 (B)	前年累計 (C)	比較 (D) 対前年度 (B)-(C)	備考
特定環境保全公共下水道	50,602	602,908	588,505	14,403	3 処理場
米谷・錦織処理区	10,977	135,535	136,523	△ 988	
豊里処理区	27,656	331,171	317,323	13,848	
津山処理区	11,969	136,202	134,659	1,543	
流域関連特定環境保全公共下水道	12,800	143,322	124,625	18,697	
農業集落排水	102,480	1,241,256	1,260,170	△ 18,914	24 処理場
迫地区	7,921	99,057	99,908	△ 851	
東和地区	2,895	33,319	32,619	700	
中田地区	28,142	336,322	341,904	△ 5,582	
豊里地区	1,807	22,580	22,742	△ 162	
米山地区	42,979	531,309	542,114	△ 10,805	
南方地区	18,736	218,669	220,883	△ 2,214	
浄化槽(特地・個排)	40,456	446,431	416,021	30,410	1926基
合計	451,008	5,315,447	5,337,461	△ 22,014	

※流域関連特定環境保全公共下水道及び浄化槽については有収水量を記載

◎ 主要な建設改良事業の状況

(単位：件・千円)

主要な建設改良事業	予算 (A)		施工中 (B)		竣工 (C)		残額 (D) (A)-(B+C)	執行率
	件数	金額	件数	金額	件数	金額		
管路整備事業	13	590,869	6	424,581	7	124,127	42,161	92.9%
処理施設整備事業	6	371,193	4	349,778	1	16,844	4,571	98.8%
浄化槽整備事業	80	105,030	16	15,527	64	73,646	15,857	84.9%

※ 件数及び金額は、工事+委託(事務費・人件費含む)の合計です。

※ 浄化槽整備事業の受付は、80件となり11月末で終了しました。

特記事項

1 下水管閉塞箇所汚泥吸引作業の実施

2月17日(水)登米町寺池前舟橋地内において、下水道管の閉塞事故が発生し、汚泥吸引清掃や高圧洗浄による復旧作業を行いました。今回の原因は下水道管に流れ込んだ油等が固まり管を閉塞したものです。突発的な下水道管閉塞事故を防止するため、市広報・市ホームページやコミュニティFM放送を活用して、市民等へ下水道の適正使用の周知を行っています。



【復旧作業の状況】

2 農集排マンホールポンプ施設更新工事の完了

新田地区において実施している令和2年度農業集落排水事業機能強化事業によるマンホールポンプ施設更新工事が2月26日(金)に完了しました。この工事で、中継ポンプ場の制御盤(2カ所)とポンプ(3カ所)の更新を行いました。新田地区の農業集落排水事業機能強化事業は、令和3年度まで実施する計画です。



【制御盤更新後】